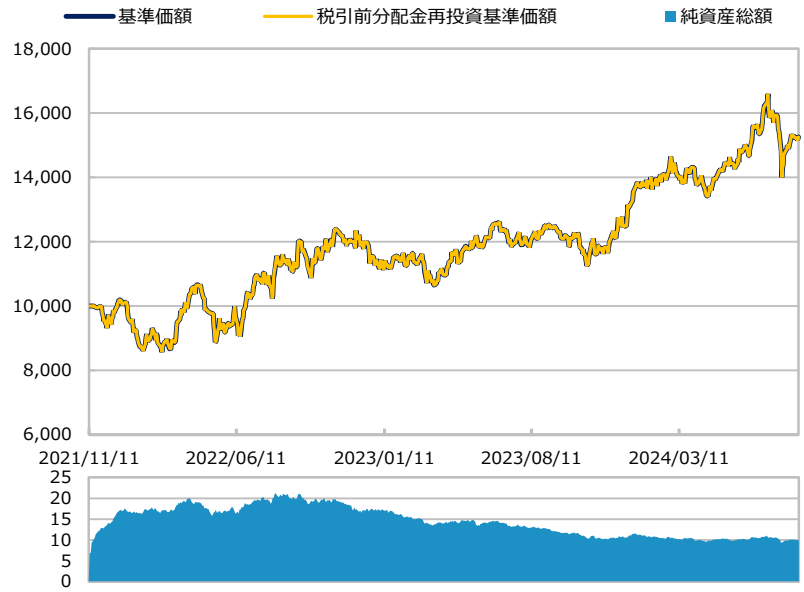
グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2024年08月30日

ファンド設定日：2021年11月12日　　日経新聞掲載名：グロ創薬株式

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	15,254	-609
純資産総額（百万円）	999	-51

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2024/07/31	-3.8
3カ月	2024/05/31	6.5
6カ月	2024/02/29	5.3
1年	2023/08/31	22.1
3年		
設定来	2021/11/12	52.5

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2022/11/10	0
第2期	2023/11/10	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	98.5	+0.2
マネー・ファンド	0.1	+0.0
現金等	1.4	-0.2
合計	100.0	0.0

※ 組入投資信託の正式名称は「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「キャッシュ・マネジメント・マザーファンド」です。

運用概況

当月末の基準価額は、15,254円（前月比-609円）となりました。
また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、-3.8%となりました。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2024年08月30日

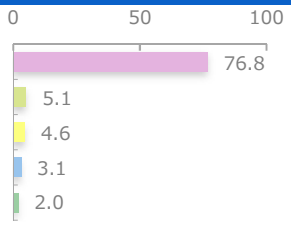
※ このページは「カンドリアム・エクイティーズ・Ｌ・バイオテクノロジー（Ｓクラス、円建て）」について、カンドリアム・エス・シー・エーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
株式	98.4	-0.2
先物等	0.0	0.0
現金等	1.6	+0.2
合計	100.0	0.0

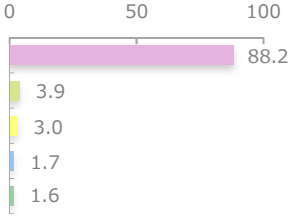
組入上位5カ国・地域（%）

		当月末	前月比
1	アメリカ	76.8	-0.8
2	デンマーク	5.1	+0.1
3	ベルギー	4.6	-0.0
4	イギリス	3.1	-0.4
5	ドイツ	2.0	+0.2



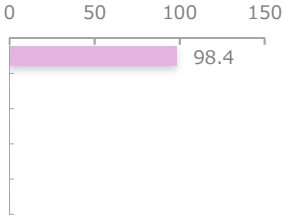
組入上位5通貨（%）

		当月末	前月比
1	アメリカドル	88.2	+0.3
2	ユーロ	3.9	+0.2
3	デンマーク クローネ	3.0	-0.3
4	日本円	1.7	+0.2
5	イギリス ポンド	1.6	-0.8



組入上位5業種（%）

		当月末	前月比
1	医薬品・バイオテクノロジー	98.4	-0.2



※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

組入上位10銘柄（%）　（組入銘柄数　79）

	銘柄	国・地域	業種	比率
1	リジェネロン・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	7.1
2	アムジェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.1
3	バーテックス・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	5.1
4	ギリアド・サイエンシズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	4.8
5	アルナイラム・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	4.7
6	イーライリリー	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.9
7	バイオマリン・ファーマシューティカル	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.8
8	バイオジェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.4
9	インスメッド	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.4
10	アイオニス・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.2

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入投資信託の純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2024年08月30日

※ このページは「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）」について、カンドリアム・エス・シー・エーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

8月は株式市場にとって不安定な月でした。激しいリスク回避の動きで始まった後に急速に回復し、株式市場はプラス圏で終わりました。ヘルスケアはディフェンシブ（景気変動の影響を受けにくい）なセクターとしての役割を果たし、下降局面でうまく下値を抑えつつ、残りの月は上昇トレンドに加わりました。主に医薬品の牽引により、月間を通じて株式市場全般のパフォーマンスを上回りました。また、インフレ抑制法の取組みに関連して、医薬品価格に関する政府交渉の最初の結果が発表されました。結果は、企業が業績ガイダンス（会社が発表する業績予想）に織り込んでいたものと一致、もしくは上回り、医薬品の好調なパフォーマンスのきっかけとなりました。一方でバイオテクノロジーセクターは当月アンダーパフォームしました。

＜運用状況＞

8月の当ファンドの基準価額は下落しましたが、参考指数であるナスダックバイオテクノロジー指数を上回りました。

パフォーマンスにプラス寄与した主な銘柄は、次の通りです。イーライリリーの第2四半期決算は肥満領域が牽引し引き続き堅調で、さらに生産増強後は株価上昇が際立ちました。リジェネロン・ファーマシューティカルズは、売上とEPS（一株当たり純利益）がコンセンサスを上回り、デュピクセントが成長軌道を維持するとともに、滲出性加齢黄斑変性治療薬の高用量アイリーアへの切替えが順調に進み、堅調な結果を達成しました。ウルトラジェニックス・ファーマシューティカルは、主力製品であるクリスビタが牽引し、予想を上回る収益を達成しました。ベイジーンの売上は、2024年第2四半期と2024年上半期の両方で予想を上回り、製品売上の急成長の恩恵を受けて高い調整後収益を達成しました。また、スプリングワークス・セラピューティクスがデスモイド腫瘍治療薬により好調な第2四半期売上を発表しています。この重要な資産に戦略的に注力することにより、同社の収益化への道筋が見えてきました。

注目すべき臨床アップデートでは、アビディティ・バイオサイエンシズが、エクソン44スキップ型デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者における良好な初期データを発表しました。正常なジストロフィン生成の大幅な増加と筋肉損傷バイオマーカーの減少は、筋肉の回復を示しています。アルナイラム・ファーマシューティカルズは、欧州心臓病学会でのブトリシラン臨床試験の全データ発表を前に、当月を通して株価は堅調に推移しました。プレゼンテーション後に株価は一時的に売られましたが、心筋症を伴うATTRアミロイドーシスにおけるブトリシランの強力で一貫した利点が強調され、承認をサポートしています。

規制上のマイルストーンには、アセンディス・ファーマによるホルモン障害性副甲状腺機能低下症の治療薬の承

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2024年08月30日

※ このページは「カンドリアム・エクイティーズ・Ｌ・バイオテクノロジー（Ｓクラス、円建て）」について、カンドリアム・エス・シー・エーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

認が挙げられます。また、シンダックス・ファーマシューティカルズとインサイトは、慢性移植片対宿主病の治療薬の承認を取得し、この困難な疾病に対する新たな治療選択肢を提供しました。ベローナ・ファーマは、慢性閉塞性肺疾患の治療薬を8月初旬に発売し、市場から好感されました。この治療薬は、慢性呼吸器疾患に対処するための大きな前進です。

＜見通しと方針＞

11月に予定されている米国大統領選挙により、今後数ヵ月間は投資家の警戒感がさらに高まる可能性があります。しかし、当社の見解では、以前の選挙とは異なり、ヘルスケアはそれほど大きな争点ではないため、このセクターへの影響は限定的と予想しています。金利引き下げは株式市場をサポートする可能性が高く、またバイオテクノロジーセクターは金利低下局面では総じて好調です。高いレベルのイノベーションと人口動態によりさらに高まる満たされていない医療ニーズを背景として、当社はこのセクターの長期的な見通しに自信を持っています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2024年08月30日

ファンドの特色

1. 主として、革新的な技術力で医療分野に新たな可能性を生み出していく世界の創薬関連企業の株式に投資を行います。
   ●ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。
   ＊創薬関連企業とは
   当ファンドでは、医薬品の開発を行う創薬企業をはじめとして、遺伝子検査や実験機器などのバイオテクノロジーにかかわる企業を指します。創業期など初期のステージにある企業から安定的な成長を確立した企業の株式まで幅広く投資を行います。

2. 実質的な運用は、カンドリアム・エス・シー・エーが行います。

3. 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
   ●基準価額は為替変動の影響を受けます。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
●運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
●投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
●当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】
内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】
ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

【円高は基準価額の下落要因です】
外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】
海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】
有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2024年08月30日

投資リスク

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

○ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

○ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

○ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

- ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2024年08月30日

お申込みメモ
購入単位
お申込みの販売会社にお問い合わせください。
購入価額
購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金
販売会社の定める期日までにお支払いください。
換金単位
お申込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額
換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金
原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
信託期間
2031年11月10日まで（2021年11月12日設定）
決算日
毎年11月10日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配
決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。 分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。 ※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。
課税関係
●課税上は株式投資信託として取り扱われます。 ●公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 ●当ファンドは、NISAの対象ではありません。 ●配当控除および益金不算入制度の適用はありません。
お申込不可日
以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。 ●ルクセンブルグの銀行の休業日 ●ルクセンブルグの銀行の休業日の前営業日 ●ニューヨークの銀行の休業日 ●ニューヨークの取引所の休業日

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2024年08月30日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

○ 購入時手数料
購入価額に3.30%（税抜き3.00%）を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

○ 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○ 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に年1.232%（税抜き1.12%）の率を乗じた額です。
※投資対象とする投資信託の運用管理費用を含めた場合、年1.932%（税抜き1.82%）程度となります。ただし、投資対象とする投資信託の運用管理費用は、料率が把握できる費用の合計であり、上記以外の費用がかかる場合があります。
また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回る場合があります。
上記の料率は、2024年5月末現在で知り得る情報に基づくものであり、今後、変更される場合があります。

○ その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
●監査法人等に支払われるファンドの監査費用
●有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
●資産を外国で保管する場合の費用　　等
※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税　配当所得として課税　普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税　譲渡所得として課税　換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2024年08月30日

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第399号 加入協会　：　一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ　：　https://www.smd-am.co.jp コールセンター　：　0120－88－2976　［受付時間］午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

グローバル創薬関連株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式　　作成基準日：2024年08月30日

販売会社

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人投資信託協会	備考
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第121号	○	○				

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.